



第六輯 建築と



口 繪 「清荒神」に於ける野田收氏の新邸

〔卷頭〕

生成の秋……………

〔論説〕

○關東震災の教訓…日本建築協會 工學博士 片岡 安二 副會頭

○將來の都市建築…工學博士 武田 五一・九

○木造建築と震災…工學士 本野 精吾・二

○破壊されたる帝都と其の復興(再び)文學士 黒田 鵬心・三

〔研究〕

○關東震災より得たる教訓と將來の災害防止

の研究…神戶高等工業學校教授 古宇田 實三 兼東京美術學校教授

〔住宅〕

○天成の疎林と地形と郷土材料と自然を巧みに取りなしたる「清荒神」の簡易住宅郊

邨 翠

〔都市〕

○顧みられざる都市夜間照明問題…加藤 善吉・五

〔資料〕

○「いぶん・つるーん寺」から「あたべるはごら」のバスの窓 工學博士 八戸成蟲樓・七

——埃及旅行記の三——

〔漫録〕

○古代推移の原理と都市の復興…工學士 園部 文雄・六

○長弓寺の建築と彫刻…池田谷久吉・七

——「古寺順禮」の二——

○揺れる建築…別所 悌一・七

○住宅を建てる標準…翠 煙庵・七

〔會報〕

○日本建築協會十月中記事

社 會 第十號目次

